

# 大好きな手芸で 周りの人も笑顔に...

はしぐち ひろみ  
橋口裕美さん



布の絵本「おはようおやすみ」

お宅を訪問すると玄関には、心がほっこりする季節感あふれる手芸作品が。和裁の特技を持つ橋口さんは、これまで、子育てや仕事の合間に、お子さんやお友達へのプレゼントに手芸を楽しんでいたそうです。

「子育ても終わり、自分の時間を楽しく過ごしたいと思っていたある時、作品を贈った友人に『手芸の先生をしてほしい。』と誘われ、高齢者施設でボランティアの講師を始めることにしました。大好きな手芸をして、その上、人に喜んでもらい、人のお役に立てることが励みになっているんです。まさか自分が“先生”なんて呼ばれるとは思わなかった(照)。

いつも笑顔で、元気よく関わっていきたい、皆さんと楽しい時間にしたいと『ひまわり教室』としました。

子どものように、夢中に取り組み皆さんに興味を持ってもらえる作品作りをめざしています。」

また、布の絵本作成グループ「お針子チクチク」のメンバーの一人として活動されています。

「布の絵本作成講座のチラシを見て私にできること♪と思い即応募しました。講座修了者の有志が月1回集い、1ページずつ担当し、グループで1冊ずつ作っています。」

手芸の他にも、人生初の習い事「フラダンス」を始められたと。仕事をやりくりして、週一回のレッスンに参加。

「施設への慰問や文化祭で一生懸命踊っています。仲間との楽しい時間を大切にしています。まだ2年目ですが、ずっと続けますよ〜!」と、人生を謳歌されています。



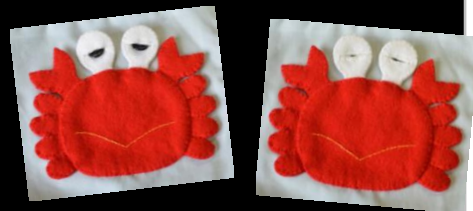
ご存じですか??

## 布の絵本

上野図書館の講座を受け、布の絵本作成グループ「お針子チクチク」が誕生しました。

布の絵本は、親子のふれ合いにはもちろん、外国の方や、視覚障がいのある方にも、さわって楽しめる、文字がない絵本です。手触りや、美しい色使いにこだわって作成しています。

ボタンをさわると表情が変わる



(橋口さんが担当した、かにさん)

専用バックに入れて  
1人1冊貸出もしています。

みなさんも図書館へ  
足を運んでみては?

今、家庭や社会で様々な役をこなす忙しい日々を送るあなたにも、好きなこと楽しいこと、思うことはいっぱいあると思います。眩しいスポットライトでなくても、あなたにしかできない何かが見つかるのでは...

